

建築家・鬼頭梓の切り拓いた戦後図書館の地平

Architectural Works by Azusa Kito

Towards Architecture of the Public Library based on Democracy



日野市立中央図書館（1973年、写真：市川靖史）

2023年3月22日(水) → 6月10日(土)

休館日：日曜・祝日 | 開館時間：10:00 → 17:00 (入館は16:30まで) | 入館料：一般200円、大学生150円、高校生以下無料

- ・大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生は学生証の提示により無料。
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳をお持ちの方及び付添の方1名は無料。
入館の際は、手帳の提示をお願いします。

主催：京都工芸繊維大学美術工芸資料館

特別協力：金沢工業大学、NPO法人建築文化継承機構 (JIA-KIT 建築アーカイヴズ)、前川建築設計事務所、建築ジャーナル

京都工芸繊維大学美術工芸資料館
Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES



建築家・鬼頭梓(1926-2008年)は東京・吉祥寺に生まれ、青年期を戦時下にする。敗戦後の1946年、東京帝国大学第一工学部建築学科に入学し、1950年の卒業後には前川國男建築設計事務所に入所。前川のもとでは、神奈川県立図書館・音楽堂(1954年)、世田谷区民会館・区庁舎(1959・1960年)などを担当する。

1964年の独立後は、東京経済大学図書館(1968年)、日野市立中央図書館(1973年)、洲本市立洲本図書館(1998年)など、全国各地に30を超える図書館を手がける。同時に、図書館の書架や家具もデザインし、民主主義時代に相応しい開架式の閲覧室を持つ戦後型図書館建築のパイオニアとして、大きな足跡を残した。また、師の前川國男(1905-1986年)が尽力した建築家の職能確立の仕事を受け継ぎ、新日本建築家協会会長を務めるなど社会的な活動も精力的に続けた。手がけた図書館により、日本建築学会作品賞、建築業協会賞、日本図書館協会建築賞優秀賞などを受賞している。

本展覧会では、「生活の根拠地」としての戦後型図書館の地平を切り拓いた彼の仕事と建築思想を、設計原図、撮り下ろしの現況写真、模型などを通して紹介する。市民の誰もが等しく利用できる公共空間であり、民主主義の根底を支えるという図書館の原点を見つめ直すきっかけとなれば幸いである。

○アクセス

市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約8分
 京都バス「高野泉町」下車、西へ徒歩約10分
 叡山電車「修学院駅」下車、西へ徒歩約15分

By Subways: Take Karasuma Line Subway to “Matsugasaki” Station, exit from Exit 1 and walk east for 8 minutes.

By Kyoto Bus: Get off at “Takano-Izumicho” stop. Cross the Takano river and walk west for 10 minutes.

By Eizan Railway: Get off at “Shugakuin” station and walk west for 15 minutes.

Museum and Archives is located in front of the main entrance of KIT west campus.

○お問合せ

京都工芸繊維大学美術工芸資料館
 Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
 Hashigami-cho Matsugasaki Sakyo-ku Kyoto-shi Kyoto 606-8585, Japan

Tel: 075-724-7924 | E-mail: shiryokan@jim.kit.ac.jp | URL: www.museum.kit.ac.jp/

1. 神奈川県立図書館*(1954年) 2. 国立国会図書館*(1961年) 3. 東京経済大学図書館(1968年)
 4. 東北大学附属図書館(1972年) 5. 山口県立山口図書館(1973年)
 6. 熊取町立熊取図書館(1994年) 7. 洲本市立洲本図書館(1998年)
 *前川國男建築設計事務所での担当作品 | 写真: 市川靖史(1,2,5)、平尾良樹(3,4,6,7)

○同時開催

「村野藤吾と長谷川堯—その交友と対話の軌跡」展

○当館の感染症予防対策の取組み

- ・お客様対応をおこなうスタッフはマスクを着用し、検温による健康チェック及び手指の消毒をおこなっております。
- ・受付には、飛沫感染防止用ついでを設置しております。
- ・館内入口と一部展示室の窓を常時開放し、可能な限りの換気に努めております。
- ・多くのお客様が手を触れる箇所の定期的な消毒を実施しております。

○ご来館の皆様へのお願い

- ・発熱、せき、くしゃみ、臭覚・味覚異常など風邪症状がある方や、体調のすぐれない方の入館はご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・マスクの持参・着用をお願いいたします。
- ・来館時に検温を実施いたします。37.5度以上の熱があるお客様は、ご入館をお断りします。
- ・団体でのご来館はお控えください。混雑状況に応じて、入館をお待ちいただく場合がございます。
- ・設置している消毒用アルコールで手指の消毒をお願いいたします。
- ・ご入館の際に、氏名・連絡先等の記入をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。



京都・大学ミュージアム連携
 University Museum Association of Kyoto

